

議会だより



# なかさつない



給食交流会 (中札内村社会福祉協議会事業)

## 9月定例会

決算審査 .....	P 2 ~ 7
一般質問 .....	P 8 ~ 10
条例改正、補正予算など .....	P 11 ~ 12

## 臨時会

## 議会活動報告

住民参加型予算制度ワークショップほか .....	P 14 ~ 15
議会行政視察調査 .....	P 16 ~ 17

## 編集後記など

P 18

中札内村議会9月定例会は、9月4日に召集され、会期を13日までの10日間とし行われました。

4日に意見書1件、報告2件、議案7件を審議し、原案どおり可決しました。

9日は2人の議員が一般質問を行いました。11日には請願2件を採択した後、令和5年度各会計決算認定6件について、12日までの2日間、本会議で審議し、全て認定しました。会期を1日残して12日に閉会しました。

## 令和5年度決算審査

令和5年度一般会計の歳入決算額は、前年度比3億8926万円減の65億2761万円、歳出決算額は前年度比4億183万円減の61億3645万円となりました。

減額の要因としては、ふるさと納税の寄附額が大幅に減少し、返礼品などの経費が減額となったことが挙げられます。

ふるさと納税クラウドファンディング補助金、産地パワーアップ事業補助金、保育園舎エアコン整備工事など19事業の翌年度への繰越額は5億3803万円となりました。

一般会計の基金残高は29億5770万円で、前年度より3億3690万円の大幅減額。

公共施設エアコン設置工事、中学校教室増設改修工事、農畜産物土づくり特別事業支援金などにより、多額の基金を取り崩したことが主な要因です。

一般会計の地方債残高は、43億259万円で、前年度より8154万円の減額となりました。決算認定審査での質疑の主なものを掲載します。

# ふるさと納税額が前年度から約4割減少。その要因は？

## 具体的な要因と内訳は？

★福原議員

**問** ふるさと納税額が5億5000万円余り減少し、発注ミスや経費率の厳格化が要因とのことだが、減額した金額の内訳は。

**答** 物価高により日用品や精米などを返礼品に選ぶ寄附が増えていることや中国の日本産ホタテ禁輸の動きに伴い、海産物を応援する寄附も増えている。

複合的に絡み合い減少していることから、内訳を明確に示すということは難しい。

## ふるさと納税サイトの影響について

★福原議員

**問** ふるさと納税サイトに肉類返礼品が掲載できなかったことにより、大幅に減少したと思うが。

**答** 該当品目を停止した時期が年末の一番かき入れ時であったことも、大きく減少した要因の一つと考えている。

寄附金額の経費率なども含めて、複合的な要因により減少につながったと考えている。詳細については検証してみたい。

★福原議員

**問** サイトを停止した判断が5億5000万円の減額につながってしまったと責任は感じているのか。

**答** 間接的に影響があったかもしれないが、直接的な因果関係はないと考えている。



ふるさと納税返礼品で人気となっている「北海道産の豚スライス4kg盛り」

## 今後の対策は？

★大和田議員

**問** 安定した寄附額を維持するための対策は。

**答** 令和6年度から中間業者にふるさと納税業務の一部を委託する。

これまで返礼品の提供がなかった事業者への声掛けにより、新しい返礼品の開発など、裾野を広げていければと考えている。

★宮部議員

**問** 他の自治体では低い寄附額の返礼品を用意されているが、事業者との話し合いにより変えていくことはできないのか。

**答** 中間業者へ委託する中で、事業者と協議をしながら、より魅力的な返礼品の開発に取組んでいきたい。

そうすることで、寄附額を回復させていきたいと考えている。

## 返礼品の発注ミスについて

★船田議員

**問** 返礼品に係る発注ミスは、どのように内部処理されたのか。

**答** 担当者、所管課長も含めて、口頭での嚴重注意を行っている。



# 「日本で最も美しい村」連合加盟自治体として

## 国道の雑草対策

★戸水議員

**問** 中札内村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しているが、最近、国道の歩道の草が伸びていて、景観の面で残念だと思っている。

**答** 国道であるが、村として何か対策はできないのか。

北海道が管理する道路は、昨年度まで試行的に村の委託事業で年に1回の除草を行っていた。

美しい景色のために、自宅前の国道や道道沿いの草取りをしている住民も、たまに見受けられる。



令和5年度は「ビューティフルデー」で国道沿いの除草を行った

## 住民の意識付けが大事

★大和田議員

**問** 視察した鶴居村では、住民はきれいにしようとする意識が高く、中札内村はそこが欠けていると感じた。気にしている住民を巻き込んで、行政区ごとで草取りデーのような行事をすることで、住民の意識を変えられないか。

**答** 住民の意識付け、小さな輪をどんどん広げていくべきではないかというところは思うところである。住民一人ひとりがそのような思いを持って、街全体がきれいになっていくと思うので、何か手法がないか研究、検証してみたい。

もう一歩進んだ取り組みを

★北嶋議員

**問** 美しい村として、もう一歩踏み込んだ取り組みを考えているのか。

**答** 村では現在、景観行政団体になれないか、協議を進めている。村民の意識付けには、新たなステーションに行くことも必要である。広報での周知やワークショップ等を開催しているが、更に情報周知をして、考え方を広げていきたい。

※鶴居村の取組については本紙17ページを参照ください。

# 有害鳥獣対策へのさらなる取り組みを

## シカ被害を減らす対策を

★北嶋議員

**問** シカ被害減少への新たな対策は。

**答** 一番効果的な対策は銃による駆除であると考えている。一部の農業者が積極的にくくり罠の講習会を受講し、狩猟免許も取る予定だと聞いている。そういった方が増えれば、罠を仕掛ける箇所も増えるので、駆除頭数の増加につながると考えている。



くくり罠講習会を実施

**答** 2農家に貸出して実証実験を行っている。電柵を併用している場合はかなり有効だが、シカソニックだけでは被害はあると聞いている。



圃場に設置したシカソニック

## アライグマ対策にも注力を

★北嶋議員

**問** 捕獲数が増え、被害が出てくると思うが、罠を増やすなどの対策は。

**答** アライグマの罠は12基所有しており、猟友会に貸出しているが、2〜3基が余っている状況。今後、罠の使用が増える可能性があることから、猟友会とも協議し、購入を検討していきたい。

## エキノコックス対策の状況は

★宮部議員

**問** 近隣市町村のエキノコックス対策は。

**答** 更別村が昨年度から、大樹町が今年度から駆虫薬散布を行っている。近隣町村以外では、上士幌町が今年度から散布すると聞いている。

**問** シカソニックの効果は？

★福原議員

設置の効果をどう分析しているのか。

今後の分譲地の考えは

★宮部議員

**問** 分譲地が残り2区画だが、今後はどうのようになっているのか。

**答** 候補地の目星を立てている状況で、大規模な分譲地というより、既存の村有地を活用した小規模な分譲を展開していきたいと考えている。



ヴィレッジときわ野第5次分譲地 (10月3日現在の販売状況)

生活支援ハウスの入居者が減っている理由は

★宮部議員

**問** 生活支援ハウスは9部屋あるが、3名の入居にとどまっている。

**答** 入居に至らない具体的な理由と今後の対応は。

**答** 介護認定の要支援1、2までの方が入居できる施設だが、最近では要支援の認定がされ、一人暮らしになっても介護サービスを利用しながら、ぎりぎりまで自宅で生活する方が増えている。

現状では入居が増える見込みがないことから、管内の生活支援ハウスを視察し、本村との違いを把握して、委託先のポロシリ福祉会と意見交換や検討を行っている。



生活支援ハウスいちげ荘

乳幼児等医療費助成の拡大は継続されるのか

★大和田議員

**問** 高校生まで助成が拡大されたが、今後についてはどう考えているのか。

**答** 限定的にいつまでと決めているわけではなく、継続する方向で考えている。



乳幼児等医療費受給者証

妊婦通院タクシー助成は継続していく予定なのか

★大和田議員

**問** 2件の利用実績だが、今後はどうのようになっているのか。

**答** 利用者は2件だが、申請者数は7名となっている。

車の免許を持っていない方、車が1台しかない方、持病により運転ができない方、1子目の時に切迫早産等で妊娠中に異常があった方から申請を受けている。

当初より大幅な減額になっているが、一定数申請があるため、予算規模を縮小しながら今後も継続していきたい。



生ごみ処理施設の状況は

★大和田議員

**問** 故障で処理機が使用できない時期があったと聞いたが、状況について確認したい。

**答** 令和5年度は不具合で使用できない時期があり、旧処理施設を使用した。令和6年4月から処理は順調で旧処理施設は使用していない。



墓地の利用状況は

★船田議員

**問** 墓じまいされる方が増え、更地になっている墓地区画が増えている。

**答** 現在の状況と今後の対応は。26区画が空いており、令和5年度は8軒が墓じまいされた。現状を維持しつつ、状況を確認しながら対応を検討していきたい。



新設された生ごみ処理機

火葬場修繕の内容は

★戸水議員

**問** 定期的な修繕なのか、保守点検等で見つかったものなのか確認したい。

**答** 焼炉内のセラミックの修繕で、前年度の点検で修繕が必要と指摘されたことから実施した。

シストセンチュウに関する幅広い周知を

★北嶋議員

**問** 今年も全道の種芋産地でシストセンチュウが出ている。

一度シストセンチュウを出すと、長い間、馬鈴薯が耕作できなくなる。村広報でも村民に周知しているが、観光客にも周知するなど対策をしていただけないか。

**答** 今年度、チラシを作成して、道の駅に配置している。

今後周知方法を検討しながら、広く周知していきたい。



道の駅に配置されたチラシ

堆肥化処理施設堆肥の出荷量の状況は

★戸水議員

**問** 堆肥購入に対する助成は令和5年度で終了した。6年度の堆肥化処理施設堆肥の出荷量はどれくらいなのか。

**答** 上半期の正式な実績報告はまだだが、前年度と比較して、量的にも、件数的にも購入量は若干減っているようである。



施設での堆肥製造風景

村営牧場の委託料と使用料収入との差が増加傾向

★宮部議員

**問** 委託料と使用料収入との差が増加しており、村の負担増が懸念される。

**答** 何か調整が必要ではないか。各種資材価格の高騰により村の持ち出しが増えており、状況については牧場運営審議会や指定管理者の役員会等で説明を行っている。道営事業も控えているため、利用料の在り方について農協とも協議をしながら情報共有していきたい。

村営牧場の発育生育や受胎率向上の周知は

★宮部議員

**問** 村営牧場における発育生育や受胎率が向上していることが、酪農家及び村民に伝わっていないとの調査結果が出ているが。

**答** 酪農家に周知していく必要があると考えている。今年度から牧場通信を発行し、情報の見える化を図っていきたい。



牧場通信を発行

サテライトオフィス設置推進補助金の利用状況は

★福原議員

**問** 補助金の内容と利用状況は。

**答** 限度額を月額5万円として、50%以内の家賃助成を行っている。コンサルティング会社一社に補助しており、助成期間が2年間のため終了した。現在の利用はない。

日高山脈の国立公園化後のPRは

★船田議員

**問** 実行委員会の活動は日高山脈国立公園化実現に向けて、素晴らしい効果を生んでいると思う。

実行委員会は一旦解散されると思うが、村として今後どのようにPRに取り組むのか。

**答** 国立公園としてのPRが本格化することから、新しい体制で行うかも含めて、観光振興を担う観光協会とも今後協議しながら検討していきたい。



日高山脈に関する講演会の様子

※次ページへ続く

スノーアート事業の今後は

★船田議員

**問** 今後も継続していく見込みなのか確認したい。

地元の小中学生を交えた形で、発展的な催し物にすることで効果が高くなると思うが。

**答** 今年度は昨年と同じ形で開催できればと思っているが、今後については、観光協会と協議していかなければならぬ。

中札内高等養護学校は生徒による雪の迷路づくりなどの企画で参加している。

小中学生などの参加も視野にいれながら、ほかの世代の参加については、観光協会と情報共有しながら進めていきたい。



令和5年度「スノーアートヴィレッジなかさつない」より



クラックやくぼみによる段差が目立つ道路

路肩が落ち込んでいる道路の修繕を

★船田議員

**問** 村道で路肩が落ち込み、冬場の通行時に車両が流されたり、ハンドルが取られそうになる箇所があるが、修繕の予定は。

また、クラック（ひび割れ）が入り、広がっている箇所があるが、どのように補修していく考えなのか。

**答** 村内全域の村道、舗装道路、砂利道を含めて、パトロールによる確認を行っており、指摘のある状況も認識している。

修繕には高額の工事費がかかるため、計画的に実施する必要がある。クラックが広がっている箇所についても、現状を把握し、適宜、補修を実施していきたい。

小中学生のSNS利用に対する注意喚起は

★戸水議員

**問** 若者の間でSNSが頻繁に利用されているが、本村の小中学生のスマホの所有率は。

教育委員会として、児童生徒にSNSに対する注意喚起を行っているか。

**答** 小学生については調査を行っていない。中学生はアンケートを実施し、全体の所有率は54%で、1年生が46%、2年生が54%、3年生が62%だった。

SNSのトラブルは、授業の中で情報モラルなどを指導し、道徳の時間にトラブルが起こらないようにするなどの指導を行っている。

今年度、個人情報を出してしまっただという案件が一件あったが、指導済みとなっている。



授業等でSNSやネットの利用について指導している

全国中学校体育大会がなくなってしまう競技への対応は

★戸水議員

**問** 令和9年度から全国中学校スケート大会がなくなる予定で、他にハンドボール、水泳なども開催されない可能性がある。

全国大会という目標がなくなることになるが、教育委員会としてメンタルケアしていく考えはあるのか。

**答** ほとんどの競技が学校の先生方が役員になることで成り立っており、自校で競技をしている生徒がいなくても、役員にならなければ大会運営ができないという現状があった。それぞれが単独で全国大会を実施できるように運営体制づくりが必要である。

全国中学校体育大会を継続してほしいという要望と、各協会が独自で全国大会をやれないかという要望を上げていきたいと思っている。



全国スケート大会の様子



更新時に人数や活動状況に応じ、車両の大きさを検討

スクールバスを小型化する  
考えは

★北嶋議員

**問** 子どもの人数が減ってくる中、スクールバスを更新する際に、小型のものに切り替えていく考えはあるのか。

**答** スクールバスは4台所有しているが、一番大きいバスが62人乗りとなっている。

登下校の乗車人数で考えると大きなバスは必要ないと思っているが、学校行事で学年単位での移動、部活動、少年団単位での利用もあることから、バスの更新時期には、児童生徒数、活用状況を考えながら、大きさを考えていきたい。

上札内パークゴルフ場のコース劣化への対応は

★船田議員

**問** すずらんコースとかしわコースの劣化が激しい。芝生の傷みがひどく、切株が残っているなど、歩行時に障害になっている。歩行利用率を高めるためにも、もう少し整備等を行う必要があると思うが。

**答** パークゴルフ場の管理については、パークゴルフ協会から意見をいただきながら管理してきている。指摘された点については、把握していなかったことから、パークゴルフ協会と確認しながら対応していきたい。



芝生が剥がれたままの状態や切株が多く残っている  
(上札内パークゴルフ場)

上札内交流館の指定管理者変更  
に伴う経費の取扱いは

★福原議員

**問** 現在、上札内交流館の新たな指定管理者を公募しており、管理者移行にあたり引き継ぎ等が行われると思うが、その費用は指定管理料に含まれているのか。

**答** 公募中のため、詳細な打ち合わせは出来ていないが、スムーズに引き継ぎが行えるよう、必要に応じて賃金で別予算を計上するなど、対応していきたい。



避難所、宿泊研修施設、放課後の見守り場所など  
様々な用途で使われている上札内交流館

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療保険料の収入  
未済額が多い理由は

★宮部議員

**問** 20名ほどが収入未済となっているが、多くなった理由は。

**答** 12月以降に75歳に達した15名に対して、事務ミスにより3月まで納付書を送付していなかったことが発覚し、未納となった。

令和6年度に入り、1名を除いて完納されている。

チェック体制を確立し、今後二度と起きないように対応していきたい。

本会議で審査の結果、各会計決算は認定されました。  
決算質疑の内容が、本年度の事業及び令和7年度予算へ反映され、より良いまちづくりへと発展するよう、議会としても引き続きチェック機能を発揮していきます！

9月定例会の一般質問は2人の議員が登壇。  
紙面の都合により、内容を要約して  
お知らせします。  
※詳しい内容はコチラ



村政のここを教えて!!

# 一般質問



きむら ゆうこ 議員  
木村 優子 議員

熱中症対策について

9



YouTube 動画  
1分40秒~



おおわだ しょうこ 議員  
大和田 彰子 議員

「村民・事業者・行政」が一体となり  
ゼロカーボンに向けた取組みを

10



1時間33分  
20秒~

## 一般質問 とは？

議員が村政全般にわたり、執行機関（村長・教育長）に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、疑問点をただすことです。

年4回開かれる定例会でのみ行われます。

## ★トピック★



## 中学3年生が議会を傍聴！

本村では、小中学校の9年間を通し、村や、まちづくりなどについて学ぶ「ふるさと学」を行っています。

中学3年生は、その集大成として毎年11月に模擬議会を実施し、自分たちが学んできたことを実際のまちづくりに生かせるよう、役場に対し、一般質問形式で政策提案を行います。

来る模擬議会に向けての事前研修として、9月定例会の一般質問を傍聴しに生徒たちが議場に訪れました。

木村議員 高齢者等へのエアコン等設置費用の助成は

村長 熱中症に対する理解と予防の自助力向上が最も重要



中札内消防署のインスタグラム等でも周知

**問** 熱中症による健康被害が増加・深刻化しています。昨年度、熱中症対策が法律に位置づけられ、住民の命を守るための施策として重要と考えることから、次の点について伺います。

**答** 熱中症予防に関する啓発活動と情報提供の手段は、村広報誌などで予防対策のポイントや注意喚起、塩麦茶などの紹介、とかち広域消防局の熱中症情報サイトについて掲載しています。

今年度から熱中症警戒アラート発生時に情報無線、情報配信メール、LINEを含むSNSの発信を行い、消防署でもインスタグラムで熱中症指数について投稿しています。

高齢者には、ケアマネージャーやヘルパーの訪問時に生活環境や水分・食事摂取の状況を確認し、個人にあった予防の働きかけを日常的に行っており、民生委員による個別訪問時にも見守りや声かけを行っています。

乳幼児を持つ保護者には、保健師や管理栄養士が母子保健事業や健康相談で、適切な水分や塩分の補給方法を伝え、保育園だより等で熱中症や食中毒予防の啓発等を行っています。

**問** 村内4か所で指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）が指定されました。住民への周知方法は。

**答** 情報無線やSNS、ホームページで周知を行っていますが、住民が一目でわかるような目印の設置についても検討します。

クーリングシェルターを設ける最も重要な意義は、危険な暑さを回避する場所を明示し、命を守るための早期行動を促すところにあります。

施設名
キッチンスタジオ 【食事スペース】
文化創造センター 【図書館】
中札内村役場庁舎 【ロビー】
道の駅なかさつない カントリープラザ 【展示室】
上札内交流館 ※今後指定予定

クーリングシェルター指定施設

**問** 体育施設等における対策は。

**答** 網戸や扇風機で対応しています。設置費用が高額となる冷房空調設備の整備予定はなく、広範囲に風を送れる移動式の大規模送風機の導入を検討します。各体育施設の暑さ指数を測定し、数値により利用者に運動の中止や積極的な休憩・水分補給を促しています。

**問** 災害時に避難所の役割を担う学校体育館の空調整備は。

**答** 大規模な改修工事が必要で、電気代など維持管理費の増大が課題です。先進事例の研究とあわせ、移動式エアコンや大型送風機等、汎用性のある設備の導入、補完的な物品となるジェルマットや保冷剤の備蓄などの有効性について検討します。

**問** 高齢者や低所得者に対するエアコン設置等に係る助成の考えは。

**答** 高齢者からはクーラーの風が寒い、足元が冷える、電気代がかかるといった声もあり、設置の有無に関わらず、適切な利用方法や個別の注意喚起を継続して行うことが必要です。併せて、高齢者のいるご家族や近隣住民に対して協力を呼びかけ、こまめに見守りや声かけを行っていただけのような普及啓発していきます。

熱中症は事前に予測し、予め行動して軽減できる気象現象であり、熱中症に対する理解の促進と住民の自助力を高めることが最も重要な対策と考えます。現時点ではエアコンの有効性は十分理解しつつも、地球温暖化を加速する負の側面も考慮し、設置を促進することになる費用助成については慎重に考えるべきだと思えます。



暑さ指数計なども熱中症予防に有効

大和田議員

「村民・事業者・行政」が一体となりゼロカーボンに向けた取り組みを

村長

二酸化炭素削減に向けた政策で住民の行動変容につなげる努力をしていく



**問** 9月議会において「ゼロカーボン宣言」するに至る村長の考え方と、その条件に対応できる環境が整ったのか伺います。

**答** 「日本で最も美しい村」連合の一員として環境負荷低減の取り組みを進めてきたところですが、宣言をすることにより関係省庁の補助事業を受けられる財政的メリットが明確になることが最大の要因です。

また全道自治体におけるゼロカーボン宣言が9割を超える状況にあることも鑑みました。

**問** 「ゼロカーボンとは何だろう」と考える住民は多々いると思います。脱炭素に関する意識は低く、共通の意識をもって計画を推進していくためには、

広報誌以外にも気象変動や災害の講演会等を開催するなど、住民一人ひとりに関心を持ってもらうことが必要です。そのための具体的な計画は考えていますか。

**答** 広報誌やSNSなどの活用、学校教育や社会教育におけるアプローチ、地域のコミュニティ活動との連携、議会での論議、専門家による講演会などが有効な手段と考えます。

住民や事業者等との協議会の立ち上げや、ワークショップなどの機会を持てるよう準備を進め、一人ひとりの行動変容につなげる努力を重ねていきます。

**問** 温室効果ガス排出量48%削減の目標達成を目指すには、「省エネ」に加え「再生可能エネルギー」の導入が不可欠と考えます。各市町村がさまざまな地域資源（バイオマス、太陽光、風力等）を活用した脱炭素の取り組みを始めています。

十勝は晴天率も高く、太陽光パネルの設置が普及している地域ですが、本村は何か取組みを考えていますか。

また住宅用の太陽光発電等の補助制度はありますか。

**答** 役場庁舎については地中熱ヒートポンプによる再生エネルギーに取組んでいます。

太陽光発電については、パネルのリサイクルが十分に進んでおらず、その多くは埋立て処分がされており、環境への悪影響のことを考えるとさらなる普及には躊躇を憶えるところです。住宅用の太陽光発電設置については、リフォーム支援事業のメニューの一つに含まれています。

太陽光発電に対する懸念が軽減され、環境が整った際には、公共施設などへの導入についても検討する可能性があります。

昨今の温暖化により、全国各地で猛暑や大雨、台風など、以前起こらなかった災害が頻繁に起き、私たちの生活に大きな影響を与えています。

本村も「第4期地球温暖化対策実行計画」が策定され、広報8月号には地球温暖化防止の特集として「ゼロカーボンへの取り組み」が載っていました。

また、9月4日定例会において、村長は2050年までに二酸化炭素排出ゼロを目指す「ゼロカーボン宣言」をされました。これにより管内19市町村のすべてが表明されました。そのことに伴い今後の考え方や方向性について伺います。

みんなで少しずつ  
節電しましょう



# 福祉灯油や新型コロナ定期予防接種事業など増額補正

## 補正予算

9月4日には、一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、簡易水道事業会計の4会計の補正予算を審議し、可決しました。  
補正内容と質疑の主なものを掲載します。

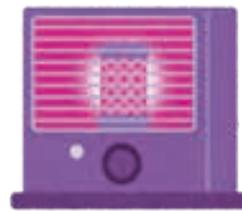
会計		当初予算額	今回補正額	補正後予算額
一般会計		55億7,480万円	5,309万円	57億5,497万円
国民健康保険		5億1,680万円	16万円	5億1,699万円
介護保険		3億6,700万円	1,624万円	3億8,321万円
後期高齢者医療		8,170万円	—	8,170万円
簡易水道	収入	2億1,007万円	—	2億1,007万円
	支出	2億691万円	20万円	2億363万円
公共下水道	収入	4億3,616万円	—	4億3,616万円
	支出	4億7,798万円	—	4億7,791万円

各会計の予算状況



農村環境改善センター

●改善センターエアコン設置工事  
1386万円  
改善センター施設内にエアコンを9台設置するため、追加しようとするもの。



●法外援護（福祉灯油）  
480万円  
灯油単価の高止まり及び物価高騰へ対応するため、支給額を上限である2万円に引き上げて支給するため、追加しようとするもの。

●新型コロナ定期接種ワクチン業務委託  
1053万円  
今年度から予防接種法上の定期接種に位置付けられ有料化となることから、65歳以上の高齢者及び60歳以上65歳未満で心臓や腎臓などに機能障害のある方の、想定される自己負担額を除いた接種業務費用を追加しようとするもの。

★木村議員  
問 60歳未満で免疫機能や呼吸器官に障がいがある方や受験を控えた学生などに対する助成は検討されたのか。  
答 受験生などに対する助成も検討したが、村としては定期接種以外の方のうち、非課税世帯及び生活保護受給者に関して対象とすることとした。  
新たな課題が出てきた場合には、次年度以降に検討していきたいと考えている。



●就労センター業務委託（平和祭）  
1万円  
草刈を行う予算に不足が生じたことから追加しようとするもの。

★宮部議員  
問 今年度は遺族会、社会福祉協議会と協議して、殉公碑前で開催されたが、会場についての考え方は。  
答 屋内での開催も協議していくが、基本的には屋外での開催を考えている。屋外開催の場合は会場の段差等を解消しなければならないと考えている。



遺族会の高齢化が進んでおり、会場の整備が課題

※次ページへ続く

# 村外の認定保育園の利用料助成(保育料無償化の対応)

●教育・保育給付費 215万円  
村在住児童の村外認定保育園への広域入所に伴い、関係経費を追加しようとするもの。



●修繕料(有害鳥獣対策) 16万円  
捕獲用檻の修繕費用を追加しようとするもの。

★宮部議員

**問** くくり民講習会を開催しているが、どのぐらいの方が受講しているのか。

**答** 今回は、3地区から7名が参加している。今後も継続して講習会を実施する方向で検討していきたい。

## 報告

●令和5年度中札内村健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により報告するもの。

◎健全化判断比率とは？

財政の健全化に関する比率で数値が大きいほど財政状況が悪いとされている。(4指標)

中札内村では赤字が発生していないことから3指標は数値化されていない。残りの1指標は基準を下回っている。

◎資金不足比率とは？

簡易水道や公共下水道の公営企業の資金不足を指標化したもので、経営状態の悪化の度合いを示すもの。中札内村では経営状態が良かったため、指標化されていない。

## 各種委員会の委員

●固定資産評価審査委員会委員

まつ 松村 則行 氏

(再任) 任期3年

## 条例の改正

●中札内村民健康保険条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律により、国民健康保険の被保険者証の廃止が令和6年12月2日から施行されるため、本村条例の一部を改正しようとするもの。

## 工事請負変更契約の締結

●まちなかキッチンスタジオ外構工事

変更前	9143万円
変更後	9587万円

掘削時に地中埋設物が確認され、その撤去及び処理が必要となったことから、工事請負契約の金額を変更しようとするもの。

議案に関する  
審議結果や  
賛否一覧は  
こちらで  
ご覧になれます



## 意見書

●国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

提出者 宮部 修一  
賛成者 大和田彰子

★意見書は採択となり、関係大臣並びに関係機関に提出しました

## 請願

●義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書の採択を求める請願

●道教委「これからの高校づくりに関する指針」(改訂版)を抜本的に見直し、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書の採択を求める請願

提出者 中札内村地区連合会  
紹介議員 木村 優子  
★請願は採択となり、同趣旨の意見書を関係大臣並びに関係機関に提出しました

# 定額減税にかかる給付金事業などで補正予算を可決

## 第3回臨時会

7月24日 開会  
会 期 1日  
審議案件 議案2件  
(原案可決)

### 補正予算

#### ●地域安全推進協議会負担金

100万円

交通事故がもたらす悲惨さ、事故撲滅や交通安全への願いを村民に届けることを目的に、地域安全推進協議会が開催する講演会費用を負担金として追加しようとするもの。

#### ★木村議員

**問** 講演会を開催することになった経緯は。

**答** 近年、高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違えによる事故が増加し、免許を更新するかどうかを考える機会をもっていたいただきたいということで、講演会の実施を検討してきた。昨年度は講師の都合が合わず、今年度2月頃に調整できそうなことから実施することとした。

#### ●低所得者支援等臨時特別給付金

4585万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響に直面する世帯に対する給付として、新たな住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に1世帯当たり10万円、子ども加算として児童1人当たり5万円を給付しようとするもの。  
また、低所得者支援及び定額減税を補足する給付として、定額減税しきれないと見込まれる方に対して給付金を支給しようとするもの。

#### ★大和田議員

**問** 定額減税補足給付金の具体的な内容を確認したい。

**答** 所得税の定額減税可能額が令和6年分推計所得税額を上回る者、個人住民税所得割の定額減税可能額が令和6年度分住民税所得割額を上回る者に対し給付金を交付しようとするもの。  
支給額が、1万2000円など端数が出る場合には、1万円未満の端数を切り上げて2万円を支給することになる。

※定額減税については

村ホームページを  
ご参照ください。



#### ●花苗等購入補助金

13万円

#### ★木村議員

**問** これまでの申請件数は。また、この事業への住民からの反響は。

**答** 141名から申請がされている。8月19日までが期限で、今年度も申請があると見込んでいる。今年度開始の事業のため、聞き取りなどは行っていないが、今まで花に関わりのなかった方からも申請があり、目的どおりに事業執行がされていると考える。



#### ●にぎわいづくり起業家等支援事業補助金

1189万円

#### ★宮部議員

**問** 申請状況と今後の見込みは。

**答** 新規起業支援2件と既存店舗改修2件の計4件、4事業者から申請が出されている。  
このほか、商工会に4事業者から既存店舗改修事業、新規店舗整備事業等の相談がある。



#### ●道路改良舗装工事

▲903万円

国の補助事業である橋梁補修工事の工法変更に伴い減額しようとするもの。

#### ★福原議員

**問** 具体的な工法変更の内容は。

**答** 現地確認、調査設計業者との協議を踏まえ、伸縮装置の更新から補修に変更することとした。

住民参加型予算制度 第2回ワークショップ開催！

7月19日、16名の村民が参加し、第1回で出された意見の中から、村民にとっての事業を実施すべきか、グループごとに3つずつ選び発表を行いました。その後、全体で話し合いを行い、5つの事業について担当課と協議を行うこととなりました。ワークショップの様子や参加者の感想などを掲載します。



どの事業を予算化すべきかグループで3つに絞り発表

担当課と協議する事業を選定！

- ◎リモートワークスペースの整備（サテライトオフィス）
- ◎オンデマンドバス（車）の導入
- ◎保育園の枠を広げ、より教育の村へ（特に未満児）
- ◎介護従事者等への助成（保育士、看護師など限定せず）
- ◎歩道の整備と役場前交差点に信号設置



ワークショップの流れ

**第1回** 「中札内村をより魅力的にするには？」グループで事業のアイデア出し。

**第2回** 各グループのアイデアを、効果と実現性の高い低いで振分け。グループごとに予算化したい事業を3つに絞り、全体プレゼン。

グループ発表で出た事業から、担当課と協議する事業をどれにするか、全体で投票し選定。

担当課と協議

**第3回** 担当課との協議内容や予算化される事業について説明。

★第3回ワークショップは11月上旬ごろ開催予定です。次号（2月発行号）で紹介いたします。



みやむら しょうご 宮村 翔伍 さん

どのようなものが実現可能か、実現をして欲しいかを話し合い議員さんに提案しました。

話し合っている中で様々な年代・職業の方と話す機会をいただけて、自分とは全く違う考えや意見を知ることができ、中札内村についてさらに知ることができました。

また、議員の皆様には実際に住んでいる村民の意見を聞いていただく機会を作ってくださいありがとうございます。

ワークショップ  
参加者の感想



とりくら ゆい 鳥倉 由羽 さん

今回の話し合いも、和気あいあいとした雰囲気でも、楽しく参加できました。

参加者の方々と世代をこえて、「中札内村をより魅力的にするには？」と真剣に意見を出し合う中で、中札内村の克服すべき課題を絞り込むことができました。

最終的に案として提出できなかった意見もありますが、村議会などで引き続き検討していただき、今回の話し合いがより良い村づくりの一助となれば幸いです。

産業文教常任委員会

村内農作物作況調査を行いました

産業文教常任委員会（委員5人）

では、9月3日に十勝農業改良普及センターのご協力をいただき、今年の農作物の作況を調査しました。

●小麦

稈長、穂長、穂数が昨年並み以上で、収穫作業は好天にも恵まれ

順調に進みましたが、収量は前年を44kg下回る見込みです。

●豆類

好天に恵まれたことや、7月前半の平均気温が昨年よりかなり高かったことから昨年より早い生育状況が続きました。

大豆は茎長が短く、着莢数が昨年より多く、収量は昨年よりやや多い見込みです。

小豆は茎長が短く、着莢数は昨年よりやや多く、収量は昨年並みか、やや多い見込みです。

金時は茎長が短く、着莢数は昨年より多いですが、収量は昨年並みか、やや少ない見込みです。

手亡は茎長が短く、着莢数は昨年より多く、収量は昨年よりやや少ない見込みです。

●馬鈴しょ

収量は昨年よりやや多く、澱粉価は昨年並みかやや下回る見込みです。

●てん菜

根周は昨年より太く、収量は昨年よりやや多い見込みですが、糖分は昨年よりやや低い見込みです。

●飼料作物

牧草の収量は昨年を上回る見込みですが、雨不足の影響で乾物重量は昨年より少ない見込みです。



圃場を見ながら農業改良普及センター職員より説明をうけました

# 行政視察調査

7月10日に更別村を訪問。乗り合いタクシーによる  
デマンド交通や、遊離土等を活用した堆肥化処理施設  
の取組みについて視察しました。

更別村

## 地域公共交通

市街地に住む約7割の住民は公共交通を利用できませんでしたが、農村地区では利用が限られていたため、公共交通に関するアンケート調査を実施。居住場所によらず、公共交通サービスを受けられる仕組みづくりを検討していくことになりました。

独自の交通アプリを開発し、乗合タクシー運行事業を開始するとともに、村民バスの農村部運行を廃止し、市街地バスの便数を5便から9便に増便。運行ルートもきめ細かく設定されています。

令和6年4月からは、乗合タクシーの対象を市街地住民に拡大し、乗降場所を特定しないフルデマンド型に変更しています。



## 乗り合いタクシー

ジャンボタクシー一台で運行。平日5日間の午前8時から午後4時まで利用可能です。

到着時間45分前までの予約が必要ですが、同意書を提出した村民であれば誰でも利用できます(有料)。

令和6年度の委託料は1141万円、村負担は1027万円。

## 村民バス

村所有の24人乗マイクロバス一台で運行。

全村民が利用可能で、平日の5日間、1日9便運行されています(無料)。

令和5年度の運行経費は824万円、そのうち委託料は723万円。

## まとめ

中札内村も、将来を見据えた公共交通の在り方を検討するため、全村民を対象としたアンケート調査や各課が連携した協議会の立ち上げを検討する必要があると考えます。

更別村では、農村部の無料交通がなくなつたことで異議を訴える方もいたようですが、移動が自由になつたとの意見も多く概ね好評で、利便性が向上すれば理解が得られるのではないかと考えます。

更別村

## 堆肥化処理施設

澱粉工場の廃液や残土の処理、製糖所の甜菜遊離土を有効活用した土づくりと農作物の生産性向上を図る目的で整備されました。

## 事業概要

年間約3万㎡の熟成堆肥が製造され、販売価格は2100円/㎡で、村と農協がそれぞれ350円/㎡(上限300㎡)を助成しています。

発酵施設には屋根を設置せず、8レーンの堆肥盤で2台のホイールローダーによる切り返し攪拌作業を行っています。維持管理については、堆肥盤の傷みが激しく、毎年1500万円程度の修繕費がかかっています。

原料のバーク堆肥は村外の肉牛農家5件から購入し、副資材は澱粉製造工場からの戻り土、澱粉粕、甜菜遊離土、鶏糞などが利用されています。

## 戻り土・遊離土

戻り土、遊離土は、焼却処理、有効資材の混合、発酵熱処理により、病害虫の影響は見られていません。

農業者は甜菜68円/トン、澱粉原料用馬鈴薯7.6円/俵の残土処理負担をしています。

## 事業効果

全村的に堆肥が投入され、農作物全般的に収量や品質に大幅な向上が見られ、管内でも上位の農業生産力を誇り、村経済全体への波及効果は大きいと考えます。

## まとめ

更別村農業協同組合が主体となり、食糧生産に欠かせない土づくりとしての堆肥熟成施設が運営され、気象変動の影響を軽減した持続可能な安定した農業経営が実践されています。

開放型の施設で製造コスト削減が図られ、利用者である農家側の視点で運営されている点など参考となる部分があります。



7月11日に鶴居村を訪問。道路等の除草作業や景観保護の取組、旧学校施設を活用したクラフトブルワリー事業を視察しました。

## 更別村・鶴居村

鶴居村

### 「日本で最も美しい村」連合 に関する取組み

#### 道路等の除草作業

道路・歩道の除草業務を約1350万円かけて実施していましたが、除草剤が使えない、機械での草刈りが難しい、頻繁に草刈りを行う必要があるなど課題もあり、令和4年度から熱湯により根のタンプク質構造を変異させ、育成を妨げる温水除草を採用しています。温水除草は、ケガや事故の低減、薬害の心配がないという利点がある一方で、作業スピードが遅い、散布機械や燃料コストが高額であるという側面もあります。

#### 住民との取組み

鶴居村美しい村づくり推進協議会が主体となり年2回の村内一斉清掃や、ボランティア専用ゴミ袋の配布、清掃活動等に対する交付金の交付、清掃活動で出た廃棄物を無償での引取りを行っています。

#### 景観行政団体へ

村独自の景観計画・景観条例の策定、景観形成の方針、行為の制限に関する事項を定め、景観計画区域を定めることで、老朽空き家の解体推進や無秩序な太陽光発電設置の抑制、森林や美しい眺めの保全などを図っています。

#### まとめ

市街地では、公共施設等の芝生や植木の管理が行き届いていました。住民の景観を守ろうとする意識が強く、本村の景観保護に関する意識醸成は、まだまだ浸透されていらないように感じられます。

本村も景観行政団体への移行にあたり、住民とワークショップを行うなど景観計画策定に取組んでいます。本村ならではの景観となる「むらづくり」に期待します。

※令和5年度決算審査にて、戸水議員、大和田議員、北嶋議員が美しい村に関する質問を行っています（本紙3ページ）



鶴居村

### 旧学校施設の活用(クラフトビール工場)

#### 地方創生の取組み

閉校となった旧茂雪裡（もせつり）小学校の体育館を活用し、民間事業者によるクラフトブルワリー事業が行われています。

株式会社kno+（ノット）が廃校を活用して事業化したクラフトビールは、村の新たな特産品となり、ふるさと納税の返礼品としても人気です。寄附金は「つるい未来へつなぐ商工観光経済活性化支援事業」に活かされ、若手醸造家など7名の雇用を創出するなど地方創生の取組みの先進事例として注目されています。

#### 事業化までの道のり

令和3年に地域説明会を開催し、クラウドファンディングを募集、金融機関説明会を経て、事業が開始されました。「ローカル10000プロジェクト」に申請・内示を受け、工事を着手しました。

令和4年に工場が完成して醸造を始め、11月から販売を開始しています。

コロナ禍での事業で、資本金が10万円だったこともあり、許可機関など各方面との折衝などで、紆余屈折の道のりがあったそうです。

総事業費は4億3000万円。内訳は民間事業費3億円、村事業費が1億3000万円、村事業費には過疎対策事業債が活用されています。

#### まとめ

当初は全村的な理解が得られての事業ではなかったようですが、クラフトビールを通じ、新たな地域との交流活動が見られること、ふるさと納税で主要な返礼品としても需要が伸びていることなどから、更なる鶴居村の挑戦と発展に期待します。



## 北海道町村議会議長会広報研修会

○8月20日（札幌市）

研修会では、（一社）自治体広報広聴研究所代表理事・広報アドバイザーの金井茂樹氏（かないしげき）による「読者に読まれる議会報の企画と編集」と題した講演を拝聴しました。



基本的な編集手法について学んだあと、道内6町村議会広報紙についてクリニックを実施。議会広報「なかさつない」についても、具体的な改善点や課題など指摘・講評をいただき、大変参考になる研修会となりました。今後もより良い議会広報づくりに尽力します。

## 次の定例会は12月です！

日程が決まりましたら情報無線、SNS等でお知らせします。どなたでも傍聴できますので、気軽に議場へお越しください。議会中継はYouTubeでも配信しており、「中札内村議会」で検索できます。また、下記のQRコードからもアクセスできます。



## 議会中継（録画版）もチェック!!

7/24 第3回臨時会  
補正予算など



9/4 定例会招集日  
条例改正、補正予算など



9/9 一般質問



9/11 決算審査1日目



9/12 決算審査2日目



## 議会公式SNS開設 Instagram始めました！



10月1日より、中札内村議会公式のInstagramを開設しました。議会日程や議員活動について発信していきます。ぜひフォローをお願いします！

## 編集後記

住民基本台帳によると、本村の人口は、1月1日で3886人でしたが、9月15日現在で3825人（うち外国人75人）です。人口減少の要因を見る時、出生が死亡を下回る「自然減」と転入が転出を下回る「社会減」で大別されています。

国の「人口戦略会議」が4月に公表した報告書では、本村の若年女性（20から39才）は2020年の361人から2050年には242人で119人の減となり、33%の減少率となっています。本村の子育てや移住への支援は、十勝管内でも充実していますが、それでもこの未来予測です。

人口減少問題は、国の最も重要な課題のひとつであることは言うまでもありません。去る10月27日、衆議院議員総選挙が行われましたが、地方からの声が届けられたでしょうか。

その一方で、少子化対策はというと本村でも独自に何か取組めることがあるのではないかと、夜長に一考。

秋も深まり、日高おろし（木枯らし）が吹く霜月となりましたが、人とのつながりを大切にしつつ、お互い体調管理には十分配慮したいものです。

（船田 幸一）

〈広報委員〉

木村 優子 大和田彰子  
戸水 隆 福原 一斉